

なるたき

NARUTAKI

新見公立大学地域共生推進センター

学内のことを
しっかり伝える第3号!

コロナ禍で新一年生を迎え
半年たった今、大学生が
何を学び、何を感じているのか
アンケートやインタビューを
通してお伝えします!

＼ 新一年生の思い・考え 伝えね〜!! /



～第3号を発行するにあたって～
フリーペーパー「なるたき」は、新見公立大学の「いいな!」
「すごいな!」「伝えたいな!」を学生目線で発信し、大学と
地域をつなぐ役割を担っていきます。

〈目次〉

- P2.3 新見公立大学 新一年生の声
- P4 各学科の演習風景のぞいてみました
- P5 SAしんぶん
- P6 NIU ストア ガイド GUIDE
コロナ禍でも! 私たちは安心して
大学生活を送っています!
編集後記

Vol.3
2021.10

聞かせてください!

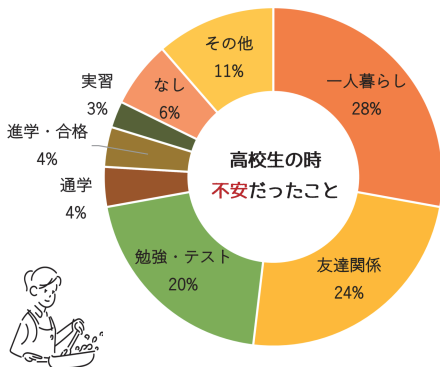
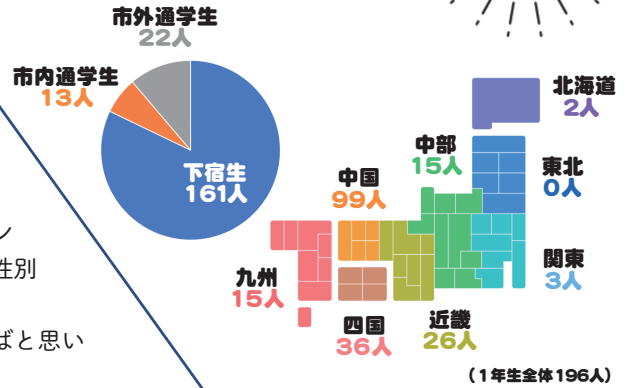
新見公立大学新一年生の声



新見公立大学の学生は西日本中心に全国各地から入学しており、市内で下宿している学生は8割を超えています。(右図は今年度入学した新1年生の通学形態と出身地の分布を表しています。)

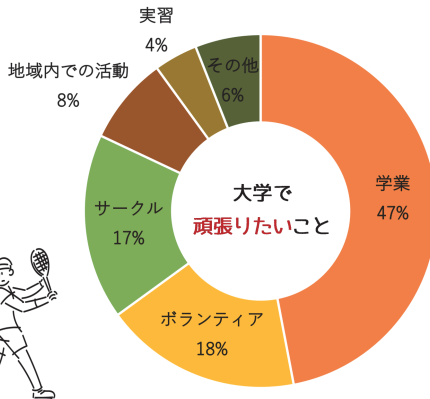
この度、健康科学部全学科の1年生を対象に、高校生の時に不安に思っていたことや大学で頑張りたいことなどのアンケートを行い、70人の方から回答をいただきました。あわせて、現状や思いなどを詳しく知るため、インタビューに答えてくださる方を募集しました。その中から、学科や出身地、性別などを考慮して選ばせていただき、インタビューを行いました。

アンケートやインタビューで、学生のリアルな思い・考えをお伝えできればと思います。小中高生は進路の参考にしてみてください!



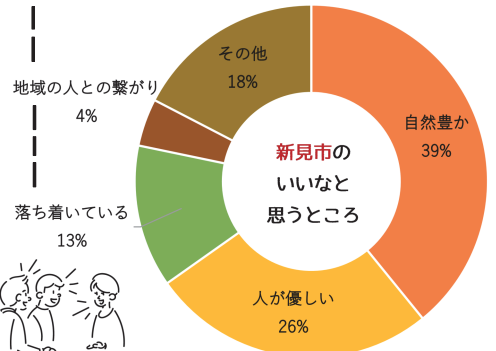
1位は一人暮らしでした。不安もあるだろうけど、自分のペースで生活できる一人暮らしは悪いことばかりではありません!友達とホームパーティーをしたり、好きなテレビ番組を見られたり・・・楽しいことも沢山あります!何より、自立する力がつきます!

2位は友達関係でした。知り合いがいなくて最初はみんな不安だと思います。でも、安心して下さい。私たちは現在2年生ですが、先輩や後輩、同級生と関わってみて、優しくいい人ばかりだと感じています!ぜひ積極的に話しかけてみてください!



学業と答えた人が半数近くいました。専門分野を学ぶことは最初は戸惑うし、難しく思うかもしれないけど、講義や演習にしっかり取り組めば学びは身についていくと思います。先生も親身になって指導して下さるので安心して学修できます。私たちもまだまだ学修途中なので一緒に頑張りたいです!

ボランティアを挙げてくれた人もいました。大学ではボランティア活動を行っているサークルや、ボランティア募集の掲示もあるので、興味のある人は是非参加してみてください!



自然豊かで、人が優しい、落ち着いたという印象を受けている人が多くいました。身近に自然を感じることができる新見市で学修し、新見の人の優しさに触れながら生活できることはとても素敵なことだと思います。道で挨拶してくれたり、食材を提供して下さったり・・・地域の方々に応援していただけることがとても嬉しいです。いつもありがとうございます!

他には、「歴史がある」「スキー場がある」という意見もありました。大学生活で新見市のいいところをもっとたくさん発見してもらえたらと思います。

健康保育学科



まるかわ たくみ
丸川 拓海 さん
(広島県東広島市出身)

ピアノは大学から始める人も多いから焦らずにしっかり練習しよう!



- Q 高校の時に不安だったことは?**
「一人暮らしは、高校から寮だったから平気でした。」
「男子が少ないこと、勉強、ピアノが不安でした。ピアノは未経験の人も半分くらいいたので少し安心しました。キーボードも買いました(笑)」
- Q 大学で頑張りたいことは?**
「サークルとバイトです。今のバイトは人と話すことが少ないから、飲食店でバイトがしてみたいです。」
- Q 好きなことは?**
「散歩と食べることです。食べられたらなんでもいいですけど、お肉が好きです(笑)」
- Q 趣味は?**
「音楽を聴くことです。」
- Q 出身地の自慢は?**
「広大なキャンパスがあること、お酒とお好み焼きが有名なことです。お好み焼きのお店に『広島風』って書いてあったら塗りつぶして、『広島』って書きたくなります(笑)」
- Q 新見市のいいところは?**
「夜が静かで星がきれいなのでホテルが見られるところです。」
- Q 新見に来て思ったことは?**
「チェーン店が恋しくなりました(笑)」



看護学科



すぎはら ほのか
杉原 穂乃花 さん (広島県尾道市)
かつら つくみ
桂 津紅美 さん (岡山県新見市)
たにくち このみ
谷口 木乃実 さん (兵庫県明石市)
(左から順、カッコ内は出身地)

Q 高校の時に不安だったことは？

谷口「知り合いがいけないことと受験で倍率の高さが不安でした。」
桂「勉強と実習が不安でした。友達に関しては、新見について聞いてくれたとき、そこで話せたら仲良くなれるかなって思いました。」

Q どうやって大学を決めた？

杉原「先生が優しく、設備も整っていたのでオープンキャンパスでここしかないと思いました。田舎に行きたかったのも理由です(笑)」
谷口「先生に勧められて決めました。」
桂「高校受験の時から、ここに行くって決めていました。」

Q 今、大変なことは？

杉原「一人暮らしでご飯を作ることです。献立決めることが大変です(笑)」

Q 大学で頑張りたいことは？

桂「ボランティアを頑張りたいです。高校時代にしていたので大学でも続けたいです。」
谷口「勉強、実習、国家試験を頑張りたいです。」

Q 趣味は？

桂「犬と散歩しながら写真を撮ることです。」

Q 出身地の自慢は？

谷口「明石焼きが美味しいことと、明石海峽大橋があることです。」
杉原「尾道ラーメンとレモンが有名なことです。」

Q 新見市のいいところは？

桂「地域と近く、景色もよくて、果物がおいしいところです。」
杉原「バイトをしているときに人がとても優しいと感じました。」

Q 今不安なことは？

杉原「実技テストが不安です。」



友達と一緒に練習しよう！
何回も練習大丈夫！



地域福祉学科

Q 高校生の時に不安だったことは？

和田「大学受験も一人暮らしもあまり不安ではなかったです。」
横地「出身校から新見公立に来るのは自分が初で知り合いがいけないことが不安でした。」

Q 大学はどうやって知った？

横地「中四国の国公立大学で福祉系の学科を探して見つけました。」

Q 一人暮らしはどう？

横地「自分以外の音がないから寂しいです。料理はたまに…ですかね(笑)」

Q 友達はできた？

横地「すぐではなかったけどできました。最初はみんな一人だったから心細くはなかったです。」

Q 大学で頑張りたいことは？

和田「学業、むすびの会、資格取得を頑張りたいです。」
横地「ボランティア、学業、地域の人と交流をしたいです。」

Q 趣味や好きなことは？

和田「読書です。毎月10冊読むことを目標にしています。」
横地「音楽を聴くことと、人と話すことです。」

Q 出身県の自慢は？

横地「海が近いことかなと思います(笑)」

Q 新見市のいいところは？

横地・和田「遊びへの誘惑がないことです。挨拶してくださるのも嬉しいです。」

一緒にSAでの活動
がんばろう！



わた ゆうか
和田 悠花 さん (香川県東かがわ市)
よこし なるみ
横地 成美 さん (島根県隠岐の島町)

(左から順、カッコ内は出身地)

アンケート・インタビューを終えて

今回、アンケートやインタビューを行って、大学1年生だからこそ感じる悩みや期待に懐かしさを感じつつ、1年生の「大学生活を頑張りたい！」という気持ちを応援したくなりました(ちなみに筆者は2年生)。高校とは違う環境で専門的な分野を学び、ボランティアやサークル活動にも精を出す…これからの学生生活に希望を持っている1年生はとても輝いて見えました。1年生のそのような様子を見て、自分たちも目標に向かって頑張ろうと改めて感じました。また、ボランティア活動や地域活動に興味のある学生が多く、地域に根差した大学である新見公立大学で学業に加えて地域への貢献活動も積極的に行ってほしいと思いました。新見市は自分たち学生が盛り上げていくという強い意思をもってボランティアや地域活動を行ってくれたら嬉しいです。大学を応援してくださっている地域の方々にはたくさんおられます。そういった方々に自分たちの頑張りが届くことを願っています！

今回のインタビューは感染対策を十分に行った上で実施しています。

各学科の 演習風景 のぞいて みました

実際に身体を動かす演習や実技練習の授業って
なかなかイメージしにくいですよね…
そこで！実際に経験した私たちから、
授業の内容やそこで感じたことをお伝えします！
今回は、いくつかある中で、
健康保育学科2年生（表現技術）
看護学科2年生（看護過程論）
地域福祉学科1年生（介護福祉論）
の授業にお邪魔させていただきました！
各学科は普段どのような演習や実技練習を
行っているのでしょうか？！

健康保育学科2年生の表現技術は選択科目です。ですが、多くの人が履修をしていました。表現技術は幼児期の心身の発達段階に応じた、身体表現遊びや表現運動の知識と技能の修得を目的としています。

授業では、グループで生き物になりきり身体を動かしたり、ペアで棒を使って落とさずに動いてみたりと、実際に楽しく身体を動かしながら身体表現の技術について学ぶことで、身体の動かし方や表現の仕方を身につけることができました。

私を含め表現は好きだが苦手という人もいたと思います。ですが、この授業を通して、自然と表現力がつき、自信を持って表現することができるようになりました。うれしかったことは、オープンキャンパスで参加者の方に「皆さん、ダンスが上手くて楽しそうで良かった！」と言っていたことです。

授業で得た、知識や技術、そして表現することの楽しさを子ども達に感じてもらうことができるような保育者になっていきたいです。



地域福祉学科1年生の介護福祉論は、介護福祉の理念・役割・機能について理解し、基本的な生活支援技術について学び、福祉サービス入門実習へのスムーズな参加に繋げることを目的とする科目です。演習では、グループごとに分かれて車いす操作、動作分析と入浴の介護技術を学びます。それらの内容として、車いす操作では、ガタガタ道などの様々な障害物を想定して行い、入浴では特殊浴槽と一般浴槽の2通りの介助を体験しました。また、動作分析ではiPadを使って立ち上がりの動作を分析しました。これらの体験を通して気づいた課題に学生どうしで取り組むことによって学びが深まりました。

実際に介護者と利用者役に分かれて演習をしました。介護者役を体験した時、その場の状況に合わせて柔軟に対応することの難しさを感じました。また、利用者役を体験した時、動作ごとに声かけをしてもらうことで不安感が取り除かれることに気がきました。

看護学科



看護学科2年生の看護過程論では、事例患者の看護問題を抽出し、実際に看護師役と患者役に分かれて演習します。その患者に合った看護を考え、計画を立てて実施し、先生に指導していただきます。患者の情報をまとめたり、疾患と関連づけたり、一人一人の個性を意識して学修することができます。今回の演習では、パンフレットを用いて生活指導したり、感染予防のための足浴を行ったりしました。計画や実践は事前準備や練習によって補うことができるけれど、指導者への報告は患者の反応など実践の結果を伝えるため、臨機応変な対応が必要でした。指導者に的確にわかりやすく伝えることの難しさを感じるとともに、チーム医療での報告の重要性を理解できました。

演習は1年生前期から始まり、清拭や車いすの移動・移送、導尿など様々な援助技術を学びます。そこで学んだ技術と看護過程論で学修したアセスメントは、2年生から始まる実習に役立っていきます。

また、看護実習室は広い空間で設備も充実しています。そのため、コロナ禍ではありますが、密になることなく安全に演習を行うことができます。



S A しんぶん



9月20日(敬老の日)に、新見市駅前交流センターで、第1回むすびの場交流会が開催されました。

講師に神代和紙保存会の仲田紗らさんと土屋俊介さんをお招きし、消しゴムはんことメッセージカード作りを行いました。参加者は、思い思いに作成したはんこを、神代和紙でできた葉書に押し、大切な人に向けてメッセージを添えていました。

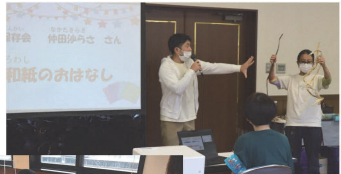
和気あいあいとした雰囲気の中、文字通り子どもから高齢者まで、人と人を「むすぶ」素晴らしい会になりました。今後もこのような会を企画していきますので、是非ご参加ください。

むすびの場交流会



消しゴムはんこ作りは案外難しかったが、楽しかった。また、むすびの会に参加したい。(参加者男性)

参加者が交流しながら作業をしていて楽しそうだった。和紙の手触りを感じてもらえてよかった。(講師)



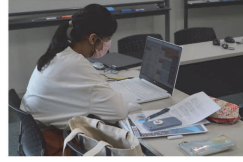
むすびの会ってなんだろう？

地域共生推進センターSA(スチューデント・アシスタント)とは、共生社会の構築を目指して設立された同センターに所属して活動している学生スタッフのことで、地域行事への参加や地域交流活動の企画・広報活動などを行っています。
今回は、その中で2つの活動を紹介します！

「むすびの会」は、昨年の12月に発足しました。メンバーは、活動開始時、実行委員長・副委員長のみでしたが、今年の4月に18名加わり、現在21名で活動しています。

活動の目的は、新見市民全体を対象とした「居場所づくり」です。活動のきっかけは、新見市には学生と地域の方が交流する機会が少ないと感じたことです。そこで、新見市民を対象に、世代を越えて交流する場を作りたいということで「むすびの会」と名付けました。
現在学生が中心となって行っていますが、ゆくゆくは地域の方々にも活動に参画していただき、誰もが「居場所」だと思えるような活動にしていきたいです。

LINKtopos2021



9月15・16日にZOOMで開催された、『LINKtopos2021(Online)「若手」』にSAが参加しました。
全国の公立大学生が英知を集結させる場として、東日本大震災を契機に作られた本大会。第9回の今回は「あれから、これから」をテーマに、東日本大震災を振り返り、災害に対する視野を広げることや大学生になにができるかを考えることを目的としました。

1日目は、講演会とテーマ別のワークショップ(ポスター作成)を、2日目は、ポスター発表を行いました。また、大会前日には、地域活動を行っている学生団体によるポスターセッションが行われました。多様な人と出会い、共に考えを深めることができるこの大会、学生の皆さん来年度以降ぜひ参加してください！

以下は参加者の感想です。
「LINKtoposに参加し様々な人との交流の中で、防災の重要性だけでなく、様々な価値観や多角的な物事の捉え方を知りました。
講演会では、実際に被災した方から当時の思いや体験を聞きました。私には想像し難いことも多く、被災者への理解がより深まると共に、学ぶことの多さを感じました。
ワークショップでは、避難所での配慮・ケアについて議論し、私の班は、配慮が必要な方のニーズに合った避難所を選べる環境作りとして、備品や対象者を示した防災マップの作成を提案しました。各班、異なった視点の発想で多くのことを学びました。

「LINKtoposを通して、有意義で貴重な体験をすることができ、関係者の方に感謝の気持ちでいっぱいです！」

営業時間
 ベーカリーカフェ
SUNSUN
 14:00まで
 (月・水は仕込み)
 ヤマザキYショップ
 9:00~21:00

ストアガイド NiU STORE GUIDE

● 昨年の地域共生推進センター棟完成と共にオープンしたお店を紹介！
 就労継続支援B型事業所の方が働かれているベーカリーカフェSUNSUNの店長 西尾さんと
 山崎製パン系列のコンビニエンスストア、ヤマザキYショップの店長 西村さんに
 インタビューをさせていただきました！

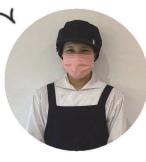
足を運んでみては
 いかがでしょうか？

大学の坂を
 一番上まで上って
 いただければ
駐車場が
 ございます。



パスダも
 あります！

SUNSUN店長
 西尾さん



ベーカリーカフェSUNSUN

働いてみて感じたことは？

これまで、障がいがある方々との関わる機会がなかった。スタッフは就労継続支援B型の方なので、実際に関わることによって、障がい者の方への印象やイメージが良い方向へ変わったこと。また、スタッフやお客さんなど様々な(普段では関わる事のない)人と関わる事ができる。このような人と人との関わりが差別のない社会づくりへと繋がるのではないかと思います。



大変なことは？

お店で活動できる時間が日中少しの時間と限られているので、どれだけ売り上げを伸ばすことができるのかを考える必要があること。これは、今後の目標でもある。また、限られた時間の中で、どれだけ質のよい活動ができるのかというところも大変。

今後の目標は？

売り上げを伸ばすこと。今は、学生や教職員、にこたん利用者の方が主なお客さんだが、一般の方も行きたくなるようなパン屋にしたい。



お待ちしています！

Yショップ店長
 西村さん



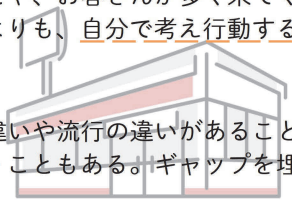
ヤマザキYショップ

やりがいは？

コンビニができて助かったという声を聞くことや、お客さんが多く来てくれること。また、学生がアルバイトを始めた当初よりも、自分で考え行動する姿がみえ、学生の成長を感じられたこと。

大変なことは？

学生(アルバイト)とのギャップがあり、すれ違いや流行の違いがあること。また、自分が思っていたことと学生の行動が違うこともある。ギャップを埋めていく必要を感じる。



コロナ禍でも！ 私たちは安心して大学生活を送っています！

大学が行っている感染対策

- ・毎日の学生の健康チェック
- ・体調不良の学生との登校前の相談
- ・学生の県外移動の管理、事前相談
- ・建物出入口への検温機の設置
- ・教室や共有スペースのアルコール消毒の徹底、アクリル板の設置
- ・学外の方と交流する授業前の学生の行動履歴の管理、体調チェックの徹底
- ・建物全体の換気システムの改良

学生が行っている感染対策

- ・マスクの着用
- ・毎日の体温測定、記入
- ・県外移動する際の報告、相談
- ・アルコール消毒、検温
- ・間隔を空けて座る
- ・アルバイト、サークル活動の制限・自粛

私たちは昨年5月のオンデマンドでの授業期間を除き、毎日学校に通って学業に励んでいます。学祭やサークル活動も感染対策をして行うことができています。他大学がオンラインで授業をしている中、対面授業で講義や演習ができていることは、学長先生や副学長先生(保健管理センター長)をはじめとするすべての教職員の方々のご尽力があってこそだと思います。私たち学生も自分のできる感染対策を考えて行動しています。
 これからも感染対策を十分に行って学びを深めていきたいです！

新型コロナウイルスワクチンに関しては、
法人全体で接種率96.8%(2021/8/19現在)を実現しています。



NARUTAKI_NIIMI
 いいねとフォロー待ってます！

フリーペーパー「なるたき」
 Instagram 始めました！

ココでしか見れない情報をお届け！

- ・紙面に関する宣伝
- ・編集作業や取材の様子
- ・紙面で取り上げていない企画
- ・SAでの活動

～編集後記～

フリーペーパー「なるたき」vol.3は学内のことを中心に紹介しました。新しく仲間に加わった1年生にも協力してもらい、地域の皆様に学生の活動や考えが届くように思いを込めて作成しました。また、今回は初めて編集ソフトを使用しました。学業や実習と両立しながらの活動になりましたが、多くの先生方にアドバイスをいただきながら最後までやり遂げることができました。
 「なるたき」に目を通してくださった皆様、協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。

お問い合わせ 地域共生推進センター (新見公立大学内)
 Tel : 0867-72-0634 Email : chiikikyousei@niimi-u.ac.jp

